第47回日本水環境学会年会優秀発表賞（クリタ賞）を受賞して

筑波大学大学院生命環境科学研究科　李　　沁　潼

この度，日本水環境学会年会優秀発表賞（クリタ賞）という名誉ある賞をいただけたことを大変嬉しく思っております。学会関係者の皆様，（公益財団）クリタ水・環境科学進行財団の皆様，および審査していただいた先生方に厚くお礼を申しあげます。

私は，海洋窒素循環に寄与する微生物群集の分布特性を解明することを目指し博士前期課程の研究を進めてきました。海洋での硝化反応はそのすべての過程を原核生物が駆動していることが判明しており，この反応の定量的理解には海洋原核生物の生理生態学的視点を含めた研究が必要であります。そして近年の研究で，硝化の律速段階であるアンモニア酸化プロセスの大部分をアンモニア酸化古細菌が行っている可能性が極めて高いことが報告されました。しかし，海洋性アンモニア酸化古細菌の分布特性やどの程度海洋窒素循環に寄与しているについてはほとんど明らかになっていません。

本研究は，生産量も高く窒素循環プロセスにおいて重要な役割を果たしている極域（北極海）を研究対象として設定し，海洋性アンモニア酸化古細菌の分布特性や分布特性に関与する環境因子を明らかにする解析を行いました。その結果，北極海における海洋性アンモニア酸化古細菌の分布特性を明らかにすることができました。

ポスター発表当日は多くの方々に厳しいコメントを含めたアドバイスをいただき，大変貴重な時間を過ごさせていただきました。また，密度の濃い議論ができたことや，近隣でポスター発表をしていた他大学の後補者の方々と議論し合えたことなど，口頭発表にはないすばらしい体験を得ることができました。ポスター発表翌日に口頭発表があったこともあり，口頭発表に自信を持って望むことができたと感じております。今回議論させていただいた内容を踏まえて，今後の博士課程での研究に活かしていきたいと考えております。

最後になりましたが，本研究を遂行するにあたり終始温かくご指導いただきました筑波大学生命環境系内海真生准教授，杉浦則夫教授，東京大学大気海洋研究所伊知地稔博士，研究室の皆様，そして家族に対し心より感謝申しあげます。今回の受賞は，多数のご助言，ご助力をいただいた皆様のおかげです。ありがとうございました。